



創立 2011年6月17日
SAITAMA UKISHIRO
JAPAN

埼玉浮き城プロバスクラブ

2022.11.24 発行

No. 137



例会日 毎月第3金曜日 ホテル ガーデンパレス 熊谷市佐谷田 3248 TEL048-525-7777
事務局 〒323-0028 小山市若木町 2-11-2 (幹事 岩崎安裕方) TEL 0285-23-8833・FAX 0285-21-3577
会長 木島 隆夫 副会長 鈴木 民儀 幹事 岩崎 安裕 情報委員長 椎橋 俊夫

本日のプログラム

第 138 回 移動例会

「京王プラザ八王子でのランチと八王子周辺観光の旅」
行田市バスターミナル (8:00 出発)

オリンパスミュージアム — 京王プラザ八王子 (昼食をお楽しみ下さい) — 昭和記念公園 (含む国営昭和天皇記念館見学) — 三井アウトレットパーク入間 — 行田市無事帰着

< 第 137 回例会出席率 会員 31・出席 22・出席率 70.9% >

第 137 回 (10 月 21 日) 通常例会

□ 幹事報告

幹事 岩崎 安裕

1. 11 月 24 日移動例会及び八王子大会参加者について

て、八王子大会参加者 8 名の参加予定。

2. 名誉会員制度新設について

88 歳以上並びに在籍 5 年以上の会員とする。

3. 12 月例会及び忘年会開催について

12 月 16 日例会後別会場にて食事会を行う。

お祝い 10 月誕生日を迎えられた会員



高橋 晋作会員



藤倉 新平会員



牧野 憲史会員

会長スピーチ

会長 木島 隆夫



皆様こんにちは。立冬を過ぎ錦秋も深まりつつあります。会員各位におかれましては、お健やかな毎日をお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、11 月移動例会は、3 年ぶりの開催となりました。しかも、全国プロバスクラブ協議会八王子総会参加に合わせ、同日、八王子界隈への周遊を企画いたしました。親睦委員長をはじめ、理事や多くの皆様のお智慧と創意工夫のおかげで無事に実現できますことを大変喜ばしく存じます。本当にありがとうございました。

さて、八王子市は多摩地区の中央南部を占め人口 58 万、21 の大学を有する一大学園都市として発展、多摩の自然と快適な都市機能が融合した住みやすい街として、近年注目を集めている地域であるといった印象です。

八王子という地名は、牛頭天王と子の八王子が由来と思われます。牛頭天王とは、インドヒンズー教に淵源を持つ神様ですが、中国の道教や陰陽道、日本の素戔鳴神との習合の過程で生み出された、ある意味不思議な尊格なのです。アジアの諸地域に生まれた様々な神仏の展開と変遷は、複雑多岐に影響し合い、とても一筋縄では理解できないものがあります。牛頭天王は、古くは疫鬼(災厄をばら撒く悪神)の扱いを受けていましたし、本地垂迹説では薬師如来、道教の鍾馗や天刑星とのつながりなど指摘されてもいますが、他方避疫の神として尊崇されています。平安時代に始まった京都八坂神社の祇園祭は、疫病を鎮める牛頭天王

そして同体としての素戔鳴尊を御祭神とした一大イベントとして現在に伝わっています。話が少々横道に逸れましたが、牛頭天王の子、八王子(八人の王子で、後に八方位の吉凶を司る神として知られている。大將軍や太歳神など)が祀られる八王子神社は、神仏習合の中で全国に多数存在しているとのこと、八王子城にある八王子神社が直接の地名ルーツであるということだそうです。

さて、八王子の産業と言えば、「八王子織物」が知られています。八王子を指す美称として「桑都」という言葉があるそうです。山がちな地形で平地が少ないことから、農家の副業として養蚕や機織りが古くから興り、周辺の村々で織られたものが滝山城下の市に集積、取引されたものを称して「八王子織物」と呼んだそうです。(八王子ホームページ参照)

関東地方は古くから養蚕が盛んで、絹織物の伝統産業が桐生や足利など各地に発展しました。その集大成たる明治の官製工場が世界遺産となっている「富岡製糸場」です。

養蚕と言えば、「お蚕様」の生育の為、定期的に家の大半を占領され、少なからず不自由な思いを強いられた幼少の頃が懐かしく思い出されます。今思うと、人間と小さな生命との共存共栄の智慧が様々な形で息づいていた時代と言えるのかもしれないですね。



ハッピーボックス発表

◎早や、秋涼の候となりました。柿の大きに、例年より少し多めの実がつけました。秋の素朴な味覚を味わっております。(木島会長) ◎秋といえば、新米、梨、秋ナスなどおいしい食べ物が頭に浮かびます。私にとって、もう一つ秋を感じるのにはキンモクセイです。小さなオレンジ色の花が咲きます。風に乗って庭中に甘い香りを放つ時、何とも言えない至福な気持ちにさせてくれます。(岩崎幹事) ◎錦秋の候になりました。草津温泉に2泊3日で行ってきました。久々の草津の湯につかり命の洗濯をしてきました。(鈴木民儀副会長) ◎今日は畠山会員の卓話楽しみにしています。(椎橋、山田、保泉会員) ◎ご逝去されました小山博元会長に対して心よりお悔やみ申し上げますと共にご冥福をお祈りいたします(須郷、渡辺、田口、藤倉会員) ◎二葉より十年耐えて柿櫓、浮き城俳句同好会の毎回の俳句会を記録した冊子を披露させていただきました。未熟な点もありますが、お目通しいただければ幸いです(高橋会員) ◎季節の秋に入り今年も残り少なくなりました。プロバスの皆様も元気でお過ごしください(根岸会員) ◎安倍なきニッポンの未来令和大

乱を救う13人 面白い本でした(木村会員) ◎プーチンと習近平にも困ったものだ。ウクライナやチベット気の毒の限りです。愛する地球がおかしくなっているのに。今より後の幸せをいかにせむ 本当だよ。(小島会員) ◎秋晴れのしのぎやすい頃となりました。文化の秋、スポーツの秋到来です(大澤、鈴木秀憲、森田会員) ◎今日の朝刊に我が剛士の偉人、儒者であり教育者であった中島撫山が載りました。安政異学の禁で有名な亀田鵬斎の学説を継ぐ第一人者です。来年より小学校4年生のマンガとして教材に使用されます。尚中島撫山の孫は作家中島敦です。12/4より久喜市郷土資料館で展示を開催いたします。ご覧になりたい方は小林まで申しつけください(小林会員) ◎何事もお世話になります。皆様とお会いでき元気が出ます。今後とも宜しく願いいたします。プロバスクラブの発展をお祈りいたします(加藤会員) ◎紅葉の色も鮮やかに過ごしやすいつづいて居ります又寒暖の差がはげしく健康に気を付けましょう(鈴木会員) ◎昨日、今日と幸い秋晴れがつづきます。ねバースデーお祝い有難うございました(牧野会員)

文責 藤倉新平



第137回 例会卓話

小山さんとの思い出

畠 山 恒 雄

去る9月19日に、当プロバスクラブ第3代会長を務められました小山博様が亡くなられました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

小山さんのことは、プロバスクラブに入会する前から存じておりましたが、プロバスクラブに入ってから、お目にかかる機会も増え、より親しくさせていただきました。

渡辺初代会長のとき、私が幹事になりました。はじめての例会のとき例会開始前に、会員の皆様とテーブルに座っておりましたら、小山さんから「畠山さんは幹事なんだから、前の席の会長の隣へ座るんだよ。幹事はこのクラブを仕切っていくんだよ。何でも会長に頼るんでなく幹事がやるんだよ」と叱咤激励を受けました。ああそうかと自分でも気付きました。小山さんは時間厳守という点でも厳しく、理事会、例会の終了時間についても厳しく指導を受けました。小山さんが渡辺さんに続いて第3代会長になられたときは、埼玉(さきたま)の小山さんの事務所(リカリッシュ)の会長室で事前会議を行いました。小山さん、須郷さん、安部さんと私の4人で何度もお邪魔いたしました。プロバスクラブ全国協議会で神戸へ、また横浜へ、中央協議会で八王子へ小山さんと一緒にさせていただきました。種々ご指導をいただきましたが、いつも暖かく見守って下さり、人なつこい笑顔が忘れられません。

改めてご冥福をお祈りする次第です。

プロバスクラブの会員は私の大きな財産

さて、当プロバスクラブも12年目を迎えました。

秋はコロナ禍のため例会が中止の時もありましたが、開催された例会には、1回だけ欠席いたしました。平成26年の6月例会だけ私は肺がん手術で入院中で残念な欠席でした。そしてこの年の7月から、私が当クラブ4代目の会長になり、翌平成27年6月まで何とか会長を務めました。

私は学校を卒業してから、65歳までサラリーマン生活を送りました。転勤で9年間行田を離れましたが、あとの30数年間は行田から東京へ通いました。朝早く家を出て、帰りは毎日遅くなりました。ただ寝るためだけに帰ってくるという生活でした。ですから退職してサンデー毎日となりますと行田に友人がおりません。友人がいないとなると何となく淋しいというか物足りない気分となりました。日本人の中老年、特に男性は地元を知り合いが少ないようです。そんなとき町内(自治会)の役員をやれという話が来て、それを引き受けました。12年間役員を続けました。お陰様で町内の方々とは顔見知りになり、だいぶ親しくなりました。

そして平成23年(2011年)にプロバスクラブからお誘いがあり会員になりました。当プロバスクラブの会員は、行田を中心とした熊谷、羽生方面の方々です。しかも皆さんその地区のお歴々の方々ばかりです。プロバスクラブに入らなかつたら、なかなか近づけない方々です。そういう方々と親しくなれた事は、私の大きな財産だと誇りに思っております。正に紳士淑女の集まりです。

どうぞこれからもよろしくお願いいたします。





故小山博君を偲んで

友人代表 渡 邊 榮 一

彼との出会いと補い合い

1. 1965 年頃、東京新宿の日本青年館ホールでの飯島岱蔵の「北埼セミナー」に一人で参加していた小山博君と初めて出会い、彼の地域社会への関心の深さに感心した
2. JC 入会。LD 委員会（渡辺委員長）の参禅会「清善寺」参加して彼は JC 感を見直す
私は彼の向学心の高さと使命感の強さを知り、交友を深めた。33 代理事長歴任
3. (公財) 忍郷友会に入会 郷土の歴史と文化を共に学び活動に参加、その後同会本部の行田移転と公財認定に伴い、事務局長に就任 渡邊榮一は副会長就任
4. 行田ロータリークラブ入会
13 代会長歴任、渡邊榮一は 9 代会長歴任 共に活動しながら信頼感深まる
5. 熊高同窓会行田支部の再建事業に参加、(二人で下働きに徹す)
川島清先生快く初代支部長引受頂き、活動的な支部の再建なる
6. 小池英輔氏国際ロータリーガバナー就任、小山君幹事就任二千人規模の地区大会開催
地区大会実行委員長に渡邊榮一就任 小山君他

1 人と 3 人で地区大会企画推進

7. 埼玉浮き城プロバスケットボール創立に参画 2011 年 6/17 設立総会開催、創立なった。
以後模範会員としてクラブや友人のために尽力されていました。

小山君は「親睦を深め楽しい知的サロンの実現を目指したい」と日頃語っていました。

私からみた小山博君の特性

1. 自己の品性向上を心掛ながら、行動し、人と交わり、研修会、奉仕活動に参加、読書等。
2. 商才に長け、自己企業の時代対応を進め、事業承継後も起業意識を失わなかった。
3. 仕事ぶりは堅実で前向き、時には妥協も辞さないが、律儀と徳性を重んじていた。
4. 常に家族と友人を大切にしていた。大好き（たばこ、奥様、大相撲、両刀使い）
5. 地域の文化と人を大事にし、顧客の安泰を願い、故郷の人づくりを考えて居た。
6. 肉体的ハンディキャップを乗り越え、笑顔で人と交わり、決断力に優れていた。
7. 近代型（現代型でない）の模範的な人柄だった。私の最も信頼していた親友でした。

私の心境、

かたり合ひて 尽くしし人は 先立ちぬ 今より
後の世をいかにせむ (山県有朋)

謹んで小山博君のご冥福をお祈りいたします

会 員 投 稿



退職してから

牧 野 憲 史

メーカーの技術職を辞してから、早いものでもう丸二年も経ようとしています。この二年の日々、或いは少々廻り、自己紹介を兼ねて記したいと思います。退職間近のある時、年代の近い輩から「キョーイクとキョーヨーが大事」と言われました。「何のこと？」と返しましたが、退職後は「今日行く…所があることと今日用事…があることが重要」という事ようです。いずれにせよ、やりたい事、やるべき事には事欠かなかったもので、頭の中で結構な項目をリストアップしていました。

まずは退職慰労を兼ねて、妻の望みのイタリア旅行をしたいと考えていましたが、パンデミックの拡がりで見えなくなり断念しています。

旅行を筆頭に、実現出来ていないこと、或いは出来たこと様々ありますが、主に趣味に関するものをいくつか紹介したいと思います。
音楽について… 以前たしなんでいた楽器の再トラ

イは、事情により自宅で音を出すのが難しく断念中です。音楽鑑賞は継続しており、好みはバロック音楽とジャズ。遡ると小中学生の頃、一世を風靡していたのが、ヴィヴァルディの「四季」で、確か上野にイ・ムジチ合奏団を姉と聞きに行きました。其れ以来バロック音楽に傾倒し、FMでグレゴリア聖歌からバッハまで聞きまくり、小遣いで買った最初のLPレコードはバッハのブランデンブルグ協奏曲です。

ちょっと「オタク」で長くなっていますが、少しバッハとジャズについて思うところを記します。バッハの壮大な音楽は素人にとって「盲人、像を撫でるが如し」であり、膨大な数の楽曲はそれぞれ緻密な構成の上に、様々な情景を拵けてみせてくれます。中で最も好きな楽曲の一つは「ゴルトベルク変奏曲」で、伯爵侯の眠れぬ夜のため捧げたとされ、穏やかで心休まる曲想の冒頭から、生きる喜びまで感じさせる快活な変奏へと展開する曲です。受験生時代、深夜ベッドに入ってからラジカセで流し、隣室の姉に怒られたのを思い出します。

一方、ジャズに傾いたきっかけは、高校時代行田産業文化会館で渡辺貞夫グループの演奏を聞いたことでした。今思うに、当プロバスケットボール先輩方々の音協活動の賜物であったのでしょうか。(改めまして感謝！です。)

(4) 埼玉浮き城プロバスケットボール会報

バロック音楽とジャズは通ずるところがあると感じています。どちらも通奏低音に乗った（ジャズではベースがその役目）異なる楽器での多声部の構成や、カウンターメロディの展開、（バロックの対位法？）声部間、楽器間のからみ（フーガ、カノン等）で構成され、フェイク（装飾音や変奏）や、即興演奏が重視されて、同じ曲でも演奏者により全く別の音楽が供される…といった種々の共通項があると思われまふ。ジャズを聴くと今でも心躍ります。

スポーツではテニスを楽しんでいます、ここではコロナ禍の中でも一人遊びの出来る自転車について記します。自転車は子供時代からお気に入りでした。小学生時代にドロップハンドルが流行ったのですが、小柄な私には適正サイズが無く、悔しい思いをしていました。その後待望のドロップハンドル車やマウンテンバイクも手にしましたが、退職を機に改めてロードバイクを購入し、テニス通いや近郊のポタリング（自転車散歩の事）、たまには自転車屋さんのイベントに参加し江の島や横浜まで足を延ばしています。昨年、バイクを車に積み、カメラを背に伊豆下田周辺を走ってきましたので、写真を添えます。自転車と写真の好きな方にとって伊豆は最高です。（やや上り下りとトンネルが難儀ですが…）先だって行田にもポタリングコースが設定されているのに気づき、“ほう！”と思い少し走ってみました、ルートが途中で不明確になったり、草に覆われて走れなかったりで、少々残念な点もあるようです。

風を友達に、一人でも手軽に有酸素運動が出来るのが自転車の魅力です。

読書では、以前より気になっていました“それでも、日本人は「戦争」を選んだ”（加藤陽子著）を読み始めましたので少し触れます。

この本は2016年出版で神奈川の某私立の中高生へ

の講義録なのですが、近代日本の歴史の分岐点についての重要ポイントを質問形式で何故何故解説を進めるものです。小林秀雄賞を取った話題の本です。で読まれた方もいらっしゃると思います。まだ完読できていませんが、まず冒頭から驚かされます。

2001年9.11の米国同時多発テロに対する米国、第二次大戦開戦の日本の言い分には共通点があるということです。

それは、“報償”という言葉で記述され、米国の立場で、対テロは戦争でなく、法を犯した犯罪者を取り締まる、駆逐しなければならないものであるという。一方、日本の1937年中国出兵の司令部も、“これは戦争では無い。報償である”というのです。“報償”という言葉は私も初めてですが、“相手が約束を破るなど悪いことをしたら、不法行為をやめさせるため実行使をして良い”という論理です。この論理はまさに現在のR国が主張する論理そのものです。

これまで歴史については、暗記物は苦手だと言って逃げてきた私にとって、如何に勉強不足だったかを思い知らされました。日清、日露から第二次大戦まで、私にとっては新たな学ぶべき視点が次々書かれていますので、続いて熟読したいと思います。

退職後の日々について、とりとめの無き事柄を書き連ねてしまいましたが、改めて思いますのに“三つ子の魂百までも”では無いですが、小さいころの経験、思考はいくつになってもその人の行動への指針を与えるものですね。

最後に当プロバスケットボールへの入会出来ましたこと改めて感謝し、諸先輩方々をお手本に社会的活動にも励み、これからの人生を前向きに進んで行きたいと思います。拙文にお付き合いくださりありがとうございました。



墓石が浜近く



下田港近く

浮き城俳句会 11月句会（第115回）

兼題－納豆、当季雑詠

七草やオスキナフクハ秋の色
納豆の糸切れずして夢忘れ
納豆を薬と思い食す朝
野に出でて日暮れて急ぐ暮の秋
思うよにいかぬ人生秋の雲

木島 泉
清水 周
安部節子
須郷岐川
小島ばん太

湯気の香に亡き夫想う納豆汁
遙かなる戦火のニュース秋深む
近道し芒の露に肩濡らす
納豆売りなじみの声に今朝も買い
残る命残る虫の音細々と

大澤扇由女
鈴木理翠
渡邊 雅
田口半茶
高橋菁村

次回例会案内 12月16日(金)第139回通常動例会「忘 年 会」

埼玉浮き城プロバスケットボール ブログ 第137回 通常例会 会報No.136 更新しました。